

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	研究方法・卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次・三年次		学期及び曜時限	通年	教室名	405教室 他
担 当 教 員	門脇 康浩 他	実務経験と その関連資格	門脇:介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害のリハビリテーション、臨床研究を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成としての卒業研究を個々人で進めていく。テーマ探しからスタートし、一連の内容をまとめて抄録を作る。パワーポイントを作成の上、研究発表会にてプレゼンテーションも行う。限られた時間の中で計画的に研究を進め、一定の形式に添って言語化して発表するべく、発表構成能力、文章作成能力、プレゼンテーション能力などを養う。						
《成績評価の方法と基準》						
提出物(20点)および学内発表会(2回 各25点)・卒業課題研究発表会(30点)における発表などを総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「リハビリテーション統計学」 中山書店 【参考図書】「言語障害の研究入門」 協同医書出版社						
《授業外における学習方法》						
先行研究の読み込みと並行して、論文でよく見られる統計学的手法について学ぶので、統計学の座学については毎回復習して知識を定着させていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
2年次に30時間、3年次に60時間履修する。3年次の卒業課題研究発表会終了後、最終的な成績を評価し、科目認定を行う。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。統計学の基礎について理解し、説明できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第1章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 先行研究の読み込み 統計学の基礎			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。尺度分類や特性値を理解し、様々なグラフを描くことができる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第2章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。	
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み データの尺度・特性値・グラフ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。推定と統計的仮説検定を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第3章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。	
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み 推定と検定の基礎			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。2標本の差の検定を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第4章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。	
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み 2標本の差の検定—パラメトリック法(1)—			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。1標本の差の検定を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第5章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。	
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 1標本の差の検定—パラメトリック法(2)—			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。差のノンパラメトリック検定を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第6章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 差の検定—ノンパラメトリック法—		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。相関係数の意味を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第7章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 相関		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。回帰分析を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第8章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 回帰分析		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。重回帰分析を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第9章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 重回帰分析		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。分割表の検定を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第10章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 分割表の検定		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。一元配置分散分析を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第11章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 一元配置分散分析		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。反復測定分散分析を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第12章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 反復測定分散分析		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。信頼性の指標となる係数を列挙し、適用条件を説明できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第13章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 信頼性係数		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。多重ロジスティック回帰分析を理解し、結果を適切に解釈できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第14章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	先行研究の読み込み、発表準備 多重ロジスティック回帰分析		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な先行研究を探し、調べながらその論文を読破できる。診断に用いる指標を列挙し、説明できる。	教科書、配付資料	授業後に教科書第15章を読み直し、理解が不十分な部分を書き留めて復習する。
		各コマにおける授業予定	個人で読み進めた先行研究の発表会 診断の指標		